

# 山形大学附属学校園だより 六 稜

2018.3.15  
【発行】  
山形大学附属学校園  
【印刷】  
坂部印刷株式会社



幼運動会・中ボランティア(9月)

附属学校園保護者の皆様におかれましては、日頃より附属学校園の運営に對して、多大なるご支援をいただきありがとうございます。本学の附属学校園は、大学附属の学校園として、担当理事のもと附属学校運営部を設置し、四校園一体的に運営されております。ご承知の通り、附属学校園は、最先端の授業開発の成果の共有などを通じて、地域における教育の質の向上を先導し、地域の教育を支える重要な役割を果たしております。また、今や教育現場全体の課題として広く注目を集めております働き方改革の実践についても、地域のモデル校としての役目を果たすことが期待されます。その実現にあたっては、保護者の皆様のご協力が不可欠です。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

他方では、グローバル化の進展著しい我が国の未来の教育を先取りすべく、早い段階からの英語学習の機会を設けるなど、大学附属の利点を最大限に生かして、新しい時代の要請にこたえるべく努力しております。

少子高齢化が進む県内にあって、初等中等教育を取り巻く環境は厳しさを増しております。そのような時代の流れの中にあつて、附属学校園もまた、これからはあるべき姿を探る努力を進めなければならぬでしょう。保護者の皆様には、附属学校園の未来に向けた模索を温かくお見守りいただきたくとも願います。



山形大学理事  
阿部 宏 慈

## 保護者の皆様へ



附属学校運営部長  
藤田 洋 治

## 附属のよさをさらに求めて

附属学校園のPTAおよび同窓会の皆様には、日頃から多大なご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度から運営部長となりました。附属四校園それぞれが特色を活かし、充実したものとなるように運営部としてバックアップしたいと考えております。

昨年来話題となっていた文科省の有識者会議の内容が夏に出され、特色のない附属学校園は廃止したい旨の内容があり、より明確な特色と実績を要求されることとなりました。

その一方で、国が出してきた働き方改革では、学校教員の大半が超過勤務であることが指摘され、報道もありましたが、我が附属でも同様です。労働時間を大幅に超えた勤務実態を少なくし、一方で充実した授業・学校生活の保障、相反した二つのことを実行するためには、行事の見直し等が必要になります。

大きな改革が必要となりますが、それでも目標とされる附属学校園であり続けるよう努力したいと考えております。

本校は今年度、創立70周年を迎えました。開校記念式では、OBの佐々木元氏をお招きし、記念講演が行われました。同窓会よりご寄贈いただいたプロジェクターとスクリーンを用い、迫力のある映像を視聴しながらの講演でした。

生徒会では「稜」のスローガンのもと、附中生が大切にしている「奉仕の心」を木に喩え、豊かな「稜」を迎えるという意味をこめ、日々の活動に励んでいます。また、参議院70周年記念論文での全国表彰、科学の甲子園Jr全国入賞等、文化活動での生徒の活躍も顕著でした。PTA活動においては、環境整備作業でボランティアを募り、除草作業・側溝の掃除などを行うことができました。

これからは、家庭と連携しながら、生徒一人ひとりが輝ける学校を創っていきたくと思います。

研究テーマ「未来を創る豊かな学びの探究  
～教科を中心に育む資質・能力～」

- 主な行事と日程
- 4月29日 PTA総会、歓送迎会
  - 5月15日 創立70周年開校記念式
  - 5月25・26日 公開研究会
  - 6月24日 PTAボランティアによる環境整備
  - 7月7日 大運動会
  - 9月2日 PTA親善球技大会
  - 10月30日 合唱コンクール

春から秋にかけて、高等部の生徒は、産業現場等における実習を行っております。今年度新たに中学部3年生も、就業体験実習を行いました。共に気持ち良く働くことの大切さと、仕事での達成感を得てきました。

また、公開研究会では、今年度初めて、作業学習における事務グループの授業を公開しました。研究テーマに即して、新学習指導要領改訂の方向性として示されている「育成をめざす資質能力」における三つの観点から児童生徒の内面を見取るといった難しさはありましたが、事後研究会の進め方においても新たな情報を発信することができました。

年度末には、東京2020大会への参画を申請します。小学部児童がマスコット投票を行うほか、パラリンピック競技種目でもあるボッチャの教職員向けの講習会を行うと共に、学習の中で取り組むなどして、東京2020大会の山形からの盛り上げをめざしています。

研究テーマ「一人一人が生き生きと活動する姿を求めて」

- 主な行事と日程
- 4月29日 PTA総会
  - 5月20日 ふれあい運動会
  - 10月23日 すまいる祭り
  - 11月17日 公開研究会
  - 12月16日 ふれあい祭

最後に、山形大学、附属学校運営部、学校園の先生方、保護者の皆さまに感謝申し上げます。

編集委員  
峰部 育子、富樫 知恵(幼)  
山崎 秀夫、渡辺 哲(小)  
松本 千草、下山久美子(中)  
塩野真理子、大友 蓮世(特)



## 附属中学校

# 今年度の附属学校園



## 附属特別支援学校

6月の公開研究会では、雨にも関わらず300名近い参加者を迎え、3年次の研究成果を発表するとともに、子供主体の保育の在り方についてお互いの理解を深めることができました。また、7月には、福島県において第64回全国公立幼稚園・こども園研究協議会山形・福島合同大会が開催され、本園は事務局として大会運営及び分科発表を行いました。さらに、山形市花と緑のコンクールでは、特別努力賞を受賞いたしました。

「良い環境により子が育つ」これからは家庭とともに子ども達が主役の園生活を創っていきたく考えています。

研究テーマ「幼児期に育てたい言葉」

- 主な行事と日程
- 4月25日 PTA総会
  - 4月30日 親子園外保育
  - 6月2日 公開研究会
  - 6月26日 創立記念式
  - 9月16日 運動会
  - 9月20日 ふよりの集い
  - 10月8日 親子いも煮会
  - 12月6・14・20日 ステージフェスティバル
  - 2月16日 年長さんありがとうの会
  - 2月27日 祖父母参観・講演会



## 附属幼稚園



## 附属小学校

附属学校の在り方改革、教員の働き方改革への実効的な対応として、教員が教育に専念できる環境づくりに取り組んでいます。開校記念式後のチャレンジ記録会では、一人ひとりが自己新めざして全力で走りまわりました。研究では、これまでの十数年の研究をまとめた『「学び続ける子ども」が育つ授業の創造』を発刊しました。また、今年の秋の教科・領域等の研究協議会は2回に分けて開催し、研究についてじっくりと協議を重ねました。

子どもたちは、(こんな自分が)大好きになるように「大ききをふやして心のねっこをふとらせよう」という年間を通した大テーマを掲げ、日々がんばっています。私たちも、そのような子どもたちが、より一層輝けるように、一人ひとりを支援していきたくと思います。

研究テーマ「たくましさ・しなやかさが育つ学び」

- 主な行事と日程
- 4月28日 PTA総会、歓送迎会
  - 5月19日 開校記念式・チャレンジ記録会
  - 6月15・16日 学習指導研究協議会
  - 9月9日 みのりスポーツフェスティバル
  - 11月2・9日 教科・領域等研究協議会
  - 11月25日 PTAレクリエーション大会
  - 2月23日 6年生を送る集会

## 編集後記

山形大学附属学校園だより「六稜」第十号をお届け致します。皆さまの記憶に新しい今年二月の冬季平昌オリンピック。世界のアスリートの雄姿、日本人選手の活躍、そして国の境を超えて、互いの健闘を称えあう美しい姿に、私たちは、大きな感動を受けました。

附属学校園においては、中学校創立七十周年記念の祝賀会が挙行され、第六十回山形市PTA連合会研修大会では、主幹校として小・中学校が運営にあたりました。

四附の雪華の校章から名付けた「六稜」のタイトル。十年前の創刊時、「この小さな芽が成長し深い根を張ることを願う」と記してあります。十年を経て、多くの皆さまのお力を得てその幹が太く成長している事を実感しております。





すまいる祭り(附特PTA)



PTA球技大会(中PTA)



保護者研修(小PTA)



園庭整備(幼PTA)

PTA活動

今年度も3つの専門部の活動が行われましたが、平日の参加者が減少したことから、活動を見直しました。

企画研修部では、福祉制度の話をお聞きしたり、3コースに分かれ事業所の見学を行ったりしました。実際に作業の様子を見て、我が子の将来を考えることができるので、毎年継続して欲しいという声が多いです。また、複数の活動を土曜日に集約した「すまいる祭り」を開催しました。毎年保体部で開催している、モンテディオの選手を招いた親子サッカー教室に加え、ゲームやダンスのコーナーを設け、選択できるように工夫しました。その後、交流昼食会を行い、文化部で準備した仕出しの芋煮を食べました。ご夫婦、兄弟の参加者も多く、大変賑やかな会となりました。また学部の親睦も深まりました。

今年度も、附属学校園の皆様には大変お世話になりました。11月末、本校の高等部バザーで、生徒と園児の皆さんとのやりとりを見て、とても微笑ましく感じました。来年度に向けて、役員数・活動の見直しを行い、更にスリム化しますが、新体制で更につながりが深まることを願っております。

附属特別支援学校PTA会長 山口 由美子

PTA活動報告

日頃からPTA活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

中学校のPTA組織は4専門部と学級委員長、及び母親委員会構成されています。総務部は歓迎迎いや懇親会の運営。体育部は運動会の協力、各球技大会の運営。施設厚生部はグラウンド整備、雪囲いの指導協力。広報部は「附中だより」の発行。母親委員会は研修会の参加運営、制服バザー開催などを担っています。また、学級委員長と総務部が評議員を務めています。保護者数の減少のため、今年度から従来の評議員を削減するとともに、総務部に評議員もお願いすることになりました。また、附属小学校の「一人一役」の全員参加型活動を念頭に、施設厚生部の役員定数を減らす一方、今まで役員の方だけに任せていた環境整備を、有志者にも参加をお願いすることにしました。

今年度は市PTA連合会総会の幹事校として、評議員を中心に例年以上のお仕事をお願いすることができました。大変ではありましたが、そのおかげで学年を超えたPTA間の結束力が上がったことを実感しています。今後も子どもたちの健やかな成長を願い、活動していきたいと存じます。

附属中学校PTA会長 佐藤 浩章

PTA活動のご報告

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を頂き、御礼を申し上げます。

本校のPTA組織は、総務部、保体部、広報部、研修部、安全部、母親委員会からなり、策定した年間の活動計画を評議委員会で協議し、総会での承認を経て、一人一役の全員参加を基本としたPTA活動に取り組んでいます。

総務部は歓迎迎いの運営、保体部は内外スポーツ関係行事の運営、広報部は附小便りの編集発行、研修部は保護者を対象とした研修会、安全部は児童登下校時の交通指導、母親委員会は年一回の研修会や、古い制服のバザーでの寄付など、全ての委員会運営に保護者の皆様から携わって頂いております。

保体部主体で行われる年一回のPTA対抗レクリエーションでは、毎年ソフトバレーボール大会を開催していますが、毎回、保護者と教師の間に強い結束力を感じることができ、成長を見守り、育んでいきたいと考えています。

これからも、様々な活動や機会を通じて、保護者と学校が一つとなって、子どもたちの皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

附属小学校PTA会長 佐藤 公啓

PTA活動について

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

本園では昨年度より、国立大学附属学校園としての意義、時代の趨勢に伴い、学級委員長会、行事部、広報部、図書部それぞれが、より良いPTA活動のあり方を考え、実践して参りました。

その中で、保護者の皆様一人一人のご協力が不可欠である場面が多々ございました。例年同様、保育サポーターや環境整備では、多くの保護者の皆様より携わって頂いております。

また、本年度の親子行事として山形市少年自然の家にて「芋煮会」を行いました。当日は、たくさんのお父様方に多大なるご協力を頂き、子どもたちに、山形の伝統や自然の大切さを伝え、親子がふれあえる大変意義のある行事となりました。

今後とも、長年築いてきた附属幼稚園の「伝統」を大切に、附属幼稚園の「素晴らしさ」を発信していけるよう、先生はじめ保護者の皆様と共に協力して参りたいと存じます。引き続き、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

附属幼稚園PTA会長 長谷川 吉之介

交流学习の様子



いっしょにあそぼう(特・小)



合同音楽(中・特)



合唱交流会(小・中)



いっしょにあそぼう(幼・特)